

ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



No.49

11月臨時会
12月定例会
2014年(平成26年)2月1日

発行 / 福山市議会

〒720-8501 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●
じゃえんざん
蛇円山(駅家町)
から望む日の出

新春のごあいさつ	2
11月臨時会の概要	2
12月定例会の概要	2
議案の審議結果	3~4
一般質問	5~9
委員会の活動	10
特別委員会の視察報告	12

新春のごあいさつ



議長
小林 茂裕

皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福山市議会では、議会の活性化と充実を図るため、昨年8月に市内8カ所で議会報告会を開催し多くの市民の皆さまと貴重な意見交換をすることができました。

皆さまのご意見を参考にしながら、市議会をより身近に感じていただけるよう、議会報告会のさらなる充実に努めてまいります。

引き続き、開かれた議会として市民の声を市政に反映させ、市民福祉の向上と市政の発展に努めてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

11月臨時会

平成25年第5回臨時会（11月11日の会期1日間）の概要は次のとおりです。

24年度の企業会計（病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計）決算認定について、*1議案を審査した企業会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり採決し、4議案を認定

総務課長が1件の市長専決処分について報告市長が市政の状況と13議案（24年度の一般会計と12の特別会計の歳入歳出決算認定）の提案理由を説明

13議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託（同委員会で11月11日から15日まで審査）

12月定例会



平成25年第6回定例会（12月3日～20日／会期18日間）の概要は次のとおりです。

3日 24年度の一般会計と12の特別会計の歳入歳出決算認定について、*2議案を審査した一般・特別会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり採決し、13議案を認定
総務課長が1件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と35議案の提案理由を説明

9日～12日 議案や市政全般について19人の議員が一般質問

12日質問終了後 市長が11件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案11件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の35議案は所管の常任委員会に付託

13日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

16日・17日 予算特別委員会で議案を審査

20日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告がありそれぞれの報告について採決し、46議案を原案どおり可決

人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めることについて同意

議員提出の意見書案2件を可決

※1：9月定例会に提案されたもので、企業会計決算特別委員会（委員18人）を設置して付託し、9月24日から26日まで審査しました。

※2：10ページの「平成24年度一般会計・特別会計決算を審査」をご覧ください。



福山市議会

親善友好都市・タクロバン市へ支援を行う

タクロバン市（フィリピン・レイテ島）は昨年11月の台風30号により甚大な被害を受けました。犠牲になられました方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆さま方に心からお見舞いを申し上げます。

本市議会としましては、同市への支援を、現地の実情を熟知し支援活動の実績がある「タクロバン・福山交流支援センター」を通じて行うため、議員全員による寄附金40万円を同センターに託しました。被災地の一日も早い復興を願います。

この定例会で決まったこと

（一部をお知らせします）

市長提出議案

■補正予算

- 旧市営競馬場内のスタンド等の解体の設計
- 竹ヶ端運動公園陸上競技場の電光得点表示盤の改修
- 9月4日の大雨で被災した道路（7カ所）や橋（1カ所）の復旧事業
- エフピコRiMの7～9階の公共施設部分の整備

人に移管します。（市立保育所条例の一部改正）

- 病院事業について26年度から地方公営企業法の規定の全部適用を行い、病院事業管理者を置きます。（病院事業の設置等に関する条例等の一部改正）
- 小中一貫教育による効果的な学校教育の実現に向け、望ましい学校教育環境について論議するため、学校教育環境検討委員会を設置します。（学校教育環境検討委員会条例の制定）

■条例

- 市立紅葉保育所を26年4月1日（予定）から社会福祉法

平成25年第6回定例会 議案の審議結果一覧

全員が賛成した案件（可決）

議案名の後の（ ）には付託委員会名を表記しています。

■24年度集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定（決算特別）	■公の施設（加茂福祉会館）の指定管理者の指定（民生福祉）
■24年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定（決算特別）	■公の施設（老人福祉センター）の指定管理者の指定（民生福祉）
■24年度母子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定（決算特別）	■公の施設（ふれあいプラザ）の指定管理者の指定（民生福祉）
■24年度誠之奨学資金特別会計歳入歳出決算認定（決算特別）	■公の施設（老人デイサービスセンター）の指定管理者の指定（民生福祉）
■24年度財産区特別会計歳入歳出決算認定（決算特別）	■公の施設（内海生活支援ハウス）の指定管理者の指定（民生福祉）
■食品衛生検査施設の設備及び職員の配置に関する基準を定める条例の一部改正（民生福祉）	■公の施設（新市老人短期入所施設）の指定管理者の指定（民生福祉）
■理容師法施行条例及び美容師法施行条例の一部改正（民生福祉）	■公の施設（内海高齢者コミュニティセンター）の指定管理者の指定（民生福祉）
■遊園地条例の一部改正（建設水道）	■公の施設（自然研修センター）の指定管理者の指定（総務）
■市立中央中学校南棟校舎改修工事請負契約締結の変更（文教経済）	■公の施設（鞆町鍛冶駐車場）の指定管理者の指定（文教経済）
■公の施設（福山城等）の指定管理者の指定（文教経済）	■公の施設（遊園地）の指定管理者の指定（建設水道）
■公の施設（鞆の浦歴史民俗資料館等）の指定管理者の指定（文教経済）	■市道路線の認定（建設水道）
■公の施設（神辺歴史民俗資料館等）の指定管理者の指定（文教経済）	■和解（文教経済）
■公の施設（ぬまくま文化館）の指定管理者の指定（文教経済）	■地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書*
■公の施設（体育館等）の指定管理者の指定（文教経済）	■「手話言語法」制定を求める意見書*

※地方公営企業法：地方公共団体が運営する公営企業（病院事業や水道事業など）の組織や財務、職員の身分など公営企業経営の基本的な基準を定めた法律。

*意見書の内容は福山市のホームページで見ることができます。[福山市のホームページ](#) → [議会情報](#) → [決議・意見書](#)

賛否が分かれた案件	○は賛成、×は反対								採 結 果	決 果	付 託 委 員 会
	水曜会	公明党	誠勇会	日 本 共 産 党	市 連 合	新 政 ク ラ ブ	無 所 属 ※1	※2			
■24年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度都市開発事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度競馬事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度食肉センター特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■24年度商業施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	決算特別	
■25年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度駐車場事業特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度商業施設特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務	
■学校教育環境検討委員会条例の制定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済	
■指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉	
■市立保育所条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉	
■集落排水処理施設条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道	
■病院事業の設置等に関する条例等の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉	
■（仮称）新浜中継施設建設工事請負契約締結の変更	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済	
■公の施設（えほんの国）の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済	
■公の施設（御船駐車場等）の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道	
■公の施設（松永駅北口駐車場）の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道	
■公の施設（三之丸駐車場等）の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道	
■公の施設（駅西送迎専用駐車場等）の指定管理者の指定	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道	
■25年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度都市開発事業特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度病院事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度水道事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■25年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■一般職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務	
■職員退職手当支給条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務	
■人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	×	○	○	○	○	同意	—	

※1：岡崎正淳議員 ※2：藤田仁志議員
 賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、19人の議員が一般質問（全員が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

会派名など	質問者数
水曜会	5人
公明党	3人
誠勇会	4人
日本共産党	2人
市民連合	2人
新政クラブ	1人
無所属	2人

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



早川 佳行
水曜会

市民後見人に期待する活動は

問

①今年度から養成を始めた市民後見人に、どのような活動を期待しているのか。

②活動していく上での課題は。

③課題克服への取り組みは。

答

①成年後見制度は認知症などにより判断能力が低下した高齢

者などの財産の管理や保全を図るもので、市民後見人には、介護施設への入所手続きなど、日常の生活支援を通して地域で暮らす高齢者に寄り添った身近な支えとなるよう活動されることを期待する。

②活動が長期間にわたることから法律や制度の改正時には、その内容を周知、研修するなど、継続的な支援が必要と考える。

③市社会福祉協議会の法人後見の支援員として活動して実務経験を積み上げてもらい、研修の機会を設け資質向上を図るよう取り組む。



大田 祐介
水曜会

親善友好都市タクロバン市への支援は

問

台風30号により甚大な被害を受けたタクロバン市に、市長は、本市の戦災復興を通して育まれたアイデンティティーである「ローズマインド」を持つ支援に努めるといふことだが具体的な支援策は。



神原 則男
水曜会

婚活支援事業をどう考えるか

問

全国的に少子化が進行しその一因として未婚化や晩婚化等が挙げられている。本市は、少子化対策では全国に誇れる待機児童対策などのさまざまな取り組みをしているが、婚活支援事業についての考えは。

答



タクロバン市の現状

現地の実情を熟知し、支援活動の実績があるタクロバン・福山交流支援センターと連携する中箱型の軽トラックやパソコン等、喫緊のニーズが把握でき、支援センターの橋渡しにより、物資の調達や送達を確実に迅速に行えることも確認できた。近々には支援センターを通じて支援を実施したい。

答

結婚願望のある若者に婚活支援を行うことは、少子化対策や若者の定着によるまちの活性化にもつながると考えており、結婚願望がありながら出会いの機会がないなど、結婚を真剣に考える若者のニーズに



応えていくためにも、行政ならではの支援策を検討していきたい。



連石 武則
水曜会

下水道事業の経営健全化を

問

①24年度末の人口普及率は68・1%だが、今後の見通しは。

- ②災害対策の取り組みは。
- ③^{*}企業債残高の削減は。
- ④下水道未接続者への対策は。

答

①29年度末までに71・3%を目標とし、計画的に整備する。



木村 秀樹
水曜会

市民病院の経営形態の見直しは

問

病院事業の経営形態を見直し、地方公営企業法の一部適用から全部適用へ移行するが、その内容と、市民にとってのメリットは。

答

全部適用による運営は、設置する事業管理者が組織、人事、

②今後も、老朽施設の長寿命化対策や災害に強い施設整備を計画的に行う。

③企業債残高は下水道事業の経営を圧迫し、一般会計に与える影響が大きいため、新規に発行する企業債を抑制するなど、目標を定め計画的な削減に努める。

④未接続の解消は、環境面や収益面からも重点的に取り組むべき課題と認識しており、今後も戸別訪問を中心に、下水道の役割や重要性を粘り強く説明し、解消に努める。

予算や契約等の独立した権限を持つことで、事務手続きの迅速化が図られ、必要に応じた医療機器の購入や医療スタッフの採用等が行える。その結果、市民にとって、より良い医療がより早く提供できる環境が整えられると考える。



市民病院に導入されたPET-CT

4月1日の移行が円滑にできるよう取り組む。



門田 雅彦
公明党

福山市都市ブランド戦略について

問

- ①福山市都市ブランドのロゴマークをもっとPRしては。
- ②ご当地ナンバープレートを導入しては。

答

①都市ブランド戦略の推進にはロゴマークなどを活用したPR活動は重要である。引き続き、



和田 芳明
公明党

神辺地区まちづくり事業の今後は

問

地域の特性に応じ、①区域を縮小して土地区画整理事業を行う区域、②地区計画により生活道路の整備を行う区域、③市街化調整区域に編入する区域に分けたが、それぞれの進捗状況と今後の取り組みは。



福山市都市ブランドのロゴマーク

さまざまな方法でロゴマークなどの浸透を図り、統一感と信頼のある都市ブランドの確立につながるよう、活用を行う。

②本来の目的以外に、観光振興や郷土への愛着を深めることなどを目的として導入している自治体が増加している。今後、都市ブランド戦略の取り組みなどが具体化されていく中で、より効果的な手法も含め鋭意検討する。

答

①審議会で審議しているが事業に反対の委員もおり、換地設計の前で停滞している。今後は地権者への少人数での説明会を開催し、事業への不安等の払拭に努め早期の事業着手に向け取り組む。
②昨年度に3路線の測量・設計を行い、今年度は設計済みの1路線で工事着手する。引き続き地元関係者と協議し、用地が確保できた路線は事業着手する。
③編入は、24年に県で都市計画の変更がされ、告示されている。早期に事業が進むよう、地域と協議を重ねる。

*企業債：地方債のひとつ。上下水道や公立病院などが事業資金を調達するために発行するもの。

*福山市都市ブランド戦略：他都市と明確に区別できる「福山らしさ」を設定し、戦略的なプロモーションにより、「福山」を良いイメージで発信、浸透させ、知名度も向上させることをめざすもの。



黒瀬 隆志
公明党

介護保険施設での虐待防止の取り組みは

問 高齢者虐待防止法では、虐待に気付いた施設の職員は市町村に通報することが義務付けられている。虐待を防ぐには施設の職員の認識を高めることが喫緊の課題だが、どう取り組むのか。

答 高齢者虐待防止法の制定を受けて、20年に高齢者虐待防止対応マニュアルを作成し、施設に向いて行う実地指導の際には、研修の実施状況や利用者、家族からの苦情の処理体制の整備状況などを確認し、虐待防止に努めてきた。今後は、介護施設の職員を一堂に集めて研修を行う集団指導を開催し、介護職員による施設内での虐待が二度と起こらないよう、指導の徹底を図る。



田中 光洋
誠勇会

子育て支援のための人づくりは

問 家庭教育の充実に向けて『親の力』をまなびあう学習プログラム[※]の出前講座を実施しているが、①開催回数、②受講者の感想、③今後の展開は。

答 ①11月末現在47回で、今年度末には60回を超える見込みである。②「悩んでいるのは私だけではないと気付き、気持ち楽になった」「親同士のネットワークづくりにつながった」など、好意的な感想が多く出されている。③学習会に参加されない親の存在も視野に入れながら、学校や地域企業などとも連携し、親として成長するための学習の場の提供や、将来の親となる中・高校生を対象とした講座の実施などに取り組む。



今川 享治
誠勇会

農地や森林の保全と活用は

問 ①里山[※]里地モデル地域での協働活動の状況は。②モデル事業終了後の仕組みづくりは。③里山里地協力隊や協定企業の耕作放棄地再生活用モデル事業への関わりは。

答 ①山手・津之郷地域は15回

実施し、散策道の整備などに延べ449人が参加、山野地域は10回実施し、耕作放棄地の解消と特産農産物の生産などに延べ380人が参加、赤坂地域は2回実施し、林道の改修などに延べ131人が参加した。②農山村地域の活性化や水と緑の再生を図るため、取り組み状況を検証し、継続的に実施されるよう取り組む。③積極的に関わっていけるようにより積極的に取り組む。④積極的に関わっていけるようにより積極的に取り組む。⑤積極的に関わっていけるようにより積極的に取り組む。



稲葉誠一郎
誠勇会

社会体育施設の整備は

問 市社会体育施設基本計画が示されたが、計画期間等の具体はいつ示されるのか。

答 社会体育施設の整備は、利用人数だけで存廃を決定するのではなく、地域性を考慮したり、競技団体と連携し各競技の競技人口を増やし利用人口を増やす

ことが、競技力の向上につながることを考えるが。

答 社会体育施設の整備は、効率性や地域バランス、利便性等に配慮しながら、今後、具体的な整備の内容や時期を検討する。

スポーツ環境の整備は、競技人口の拡大や競技力の向上にもつながるもので、市民の誰もが、いつでも気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、社会体育施設の再整備に着実に取り組む。

※『親の力』をまなびあう学習プログラム[※]の出前講座：親としての学びを支援する学習会の話し合いを促す役として養成した市民ボランティアが、保育所や小学校等に出向き、話し合いを通じて、参加した保護者自らが課題に気付き、考え、行動化につながるようにするもの。



徳山 威雄
誠勇会

小学校3年生に 自転車運転免許証を

問 12月1日から、自転車の車道での通行は左側通行に統一された。自転車通行ルールの改正を契機に、小学校3年生に自転車運転免許証を発行というステータスシンボルを与えることを提言するが、考えは。



土屋 知紀
日本共産党

小中一貫教育の推進で小中 学校の統廃合が危惧されるが

問 市長は提案説明で、小中一貫教育を推進する方針を示した。教育委員会では、中1ギャップの解消や9年間の一体的指導などをその理由としているが、学校間の連携強化や、正規教員を増やし先生の多忙化を解消し

答 小学生による自転車乗用の事故は、高学年になるほど増加する傾向にある。このため、毎年度全ての市立小学校の3年生約4300人を対象に、参加体験型の自転車教室を実施し、子どもたちは交通ルールを身に付けている。

自転車運転免許制度は、交通ルールを守り続ける動機付けの一つになると考えられ、教育的視点で踏まえ、今後免許制度を含め、効果的な手法を検討する。

30人学級を実現して子どもに丁寧に接する環境をつくることで解決する。
また、施設一体型の小中一貫教育では小中学校の統廃合が危惧されるが、学校の統廃合を行わないことを求める。

答 全国に誇れる学校教育を実現するために、義務教育9年間を一体的にとらえた教育活動の展開を図る小中一貫教育を推進する。

教育上望ましい学校規模等は、今後、福山市学校教育環境検討委員会の答申を踏まえて検討する。



村井 明美
日本共産党

生徒指導規程について

問 児童生徒が問題行動を起こす背景には事情がある。事情を分析し、児童生徒の心に寄り添い成長を促すことが教育の役割である。生徒指導規程に従わない者に別室指導を含む特別な指導を課すことは、一層の問題行動を誘発しかねない。学校と



池上 文夫
市民連合

看護師確保の取り組みは

問 看護師の不足は全国的に大きな課題で、養成、確保は、市民病院のみならず、医師会からの要望にも看護師養成の必要性が挙げられ、大きな課題である。確保のための施策と、養成に向けた方針は。

答 確保に向け、県と連携し、

保護者、児童生徒で協議し、伸び伸びと学校生活を送れる「きまり」に改めるべきではないか。

答 生徒指導規程の内容は、児童生徒が安全でより良い学校生活を送ることができるようにするための指針である。

「きまり」については、あらゆる機会をとらえ、生活場面に即して内容を考えさせ理解を深めることが大切で、児童生徒自らが「きまり」を守っていこうとする規範意識を育てることが大切である。

看護職員の養成機関への支援や、資格を持ちながら就業していない潜在看護職員の復職に向けたセミナーの実施などに取り組んでいる。
看護職員の安定確保は重要な課題であり、そのため養成機関や医師会などと十分に協議し、養成拡大に取り組む。

併せて、県や医師会等の関係機関と連携し、看護職員の就業状況等を把握し、効果的な確保や定着促進の方策を検討する。

※里山里地モデル地域（P.7）：農林業者や地域団体等と地域外の市民やNPO等が協働で取り組む里山里地の再生・保全活動を支援する事業を行うために指定した地域。
※左側通行に統一：自転車が道路の路側帯を走る場合、車道と同じ左側通行に統一された。



西本 章
市民連合

子育てに優しいまちづくり
に向けた取り組みは

問 ①公共施設や民間施設でのベビーベッドや授乳室等の整備状況の把握は。

②妊産婦に優しい環境づくりとして、「マタニティマーク」の取り組みを検討してはどうか。

答 ①学校や幼稚園、保育所な



高橋 輝幸
新政クラブ

親善友好都市のあり方は

問 ①親善友好都市提携に当たっての基本的な考え方は。

②ハミルトン市との交流状況は。

③タクロバン市との交流状況は。

答 ①経済、教育、文化、スポーツなど、各分野での市民が主体の相互交流の積み重ねがベースであり、持続性や市民の異文化理解

などを除いた155の公共施設のうち、授乳は119施設、おむつ交換は136施設でできる。民間施設は、県が集約した数値だが、授乳は37施設、おむつ交換は104施設ででき、外出時に授乳やおむつ交換などで立ち寄れる施設は徐々に増加している。

②昨年度から母子健康手帳を交付する際に、「マタニティマーク入りストラップ」を渡しているが、市民への周知は十分とは言えず、公共交通機関での譲り合いなどの啓発に努める。

の促進につながるかなどを見極め検討を行うことが必要である。

②13年までは行政間等の交流があったが、それ以降は疎遠な状況にある。毎年の親書の交換は行っているが、遠距離であることや交流の橋渡しを担っていた方が亡くなられたことなどの実情を勘案し、改めて交流のあり方を検討する。

③提携が締結された経過があまりないで、行政間の交流は疎遠な状況が続いていたが、最近では市民が主体となった交流を深める動きが活発化してきているようである。



岡崎 正淳
無所属

県との今後の連携は

問 ①湯崎県政1期目の評価は。

②インフラ整備で県が果たす役割は大きいと、本市での県の施策への評価は。

答 ①本市の小児救急医療体制



藤田 仁志
無所属

こども発達支援センター
について

問 ①幼稚園、保育所に出向く巡回相談の現状は。

②今後の事業展開は。

答 ①センターを利用した児童のフォローとして、センター職員が保育所、幼稚園を訪問した際に他の児童の相談にも対応している。

の充実やスマートインターチェンジ設置への支援などに尽力いただいている。車のまちづくりの骨格となる生活道路整備の判断には憤りを感じるが、地元住民の意見を大切にしてもらえれば道筋は必ず開けてくるものと期待している。

②県の財政状況が厳しい中、県道や河川の改修等に本市と連携し可能な限り実施していただいているものと考えている。

③引き続き県と市町が対等な立場で連携し、それぞれの責任と役割を果たせるよう取り組んでいく。

②センターの支援をより効果的なものにするため、センターの利用後も発達に課題のある児童を地域で継続的に支援する人材の育成が重要と考えており、今後もセンターを核として、支援に関わるさまざまな職種の職員のスキルアップに取り組む。



発達支援室での作業療法

※生徒指導規程（P.8）：各学校が指導基準や方法を明確にし、指導の公平性や一貫性を確保することなどを目的に作成するもの。 ※マタニティマーク：妊娠初期には外見からは妊婦と分かりにくいので、周囲の人が妊婦への配慮をしやすくするために国が進めている取り組み。

平成24年度一般会計・特別会計決算を審査

第5回臨時会（11月11日に開催）に提案された24年度の一般会計と12の特別会計の歳入歳出決算認定議案13件を、一般・特別会計決算特別委員会（委員19人）を設置し11月11日から15日まで審査しました。

11日と12日に帳簿等の書類審査、13日と14日に質疑を行い、各会計の予算が効果的

に執行されているかなどを審査しました。15日には、それぞれの会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

なお、この結果は12月定例会の初日（12月3日）に委員長報告を行いました。

委員会の活動（10月～12月）

10月から12月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	10/31	・大学院の進学意向・採用意向等に関するアンケート調査 など	文教経済	11/25	・中小企業融資資金取扱状況（新規分） ・環境中のダイオキシン類、環境ホルモン及びアスベスト濃度調査結果 ・職場体験学習「チャレンジウィークふくやま2013」の実施報告 ・学力・学習状況調査の分析結果 ・社会体育施設基本計画 など
	11/25	・市制施行100周年記念事業基本構想 ・県地震被害想定調査報告書 ・2014年度推薦入試等の応募状況（市立大学） など		12/10	・和解
	12/10	・一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 など		12/13	・付託された議案（11件）の審査 ・環境基本計画の改訂
	12/13	・付託された議案（4件）の審査 ・不祥事の根絶に向けた取組 ・津波ハザードマップ			
民生福祉	10/15	・指定特定施設の整備（高齢者施策） など	建設水道	11/25	・建設工事及び業務の執行状況 ・病院及び診療所の防火設備に係る緊急点検 ・契約事務の執行 ・工事検査の執行 ・上半期の業務及び決算状況（上下水道行政） ・ダム貯水量及び降水量の状況 など
	11/25	・地方公営企業会計制度の見直し ・障がい者施策の見直しに伴う新規事業の実施状況 ・地域包括ケアシステムの構築 ・特定健康診査等の実施状況 ・2014年度保育所保育対象年齢 など		12/13	・付託された議案（8件）の審査
	12/13	・付託された議案（12件）の審査			

◆特別委員会

	開催日	調査項目
行財政改革	12/2	・行財政改革実施プラン取組状況 2013年11月
競馬場跡地利活用検討	12/3	・市民アンケートの結果

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。



豊橋市

両市議会の取り組みを学び
私たち一同
今後とも、
市民に親し
まれる紙面
づくりにな
り、力にな
れたいと思
います。

豊橋市議会では、議会での
質問者の数に応じて、ペー
ジ数を追加するなどの工夫を行
っています。

豊橋市議会では、議会での
質問者の数に応じて、ペー
ジ数を追加するなどの工夫を行
っています。

議会だよりの充実へ編集
委員会で大津・豊橋市議会
を視察（11月18日・19日）

おおつ市議会だよりは、昨
年4月に本市で行われた、中
核市議会議長会第8回議会報
コンクールで、審査員特別賞
を受賞しており、議会活動を
市民に伝える手段として、議
会だよりの紙面からホームペ
ージへの誘導を促す「クリッ
クtoリンク」を配置している
ことなどは、今号の参考にも
なったところです。

本会議・委員会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。
「3月定例会の開催予定」は次のとおりです。傍聴にお越しく下さい。

3月定例会の開催予定

2/25 (火)	本会議（市長総体説明など）	3/10 (月)	予算特別委員会
28 (金)	議会運営委員会	11 (火)	予算特別委員会
3/ 3 (月)	本会議（代表質問）	12 (水)	予算特別委員会
4 (火)	本会議（代表質問）	13 (木)	予算特別委員会
5 (水)	本会議（代表質問）	14 (金)	予算特別委員会
6 (木)	本会議（一般質問など）	19 (水)	議会運営委員会
7 (金)	常任委員会（総務、民生福祉、 文教経済、建設水道）		本会議（委員長報告など）

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
（ただし、3月19日の本会議は午後1時からです。）

○詳しくは、議会事務局（☎084-928-1136）までお問い合わせください。

傍聴を希望される方は、会議の当日、次の場所で受け付けし、傍聴券の交付を受
けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。

○本会議 → 議会棟5階の傍聴受付（76席。うち車いす用4席）

○委員会 → 議会棟2階の議会事務局受付（6～9席）

上記以外に委員会を開催する場合は、福山市のホームページでお知らせします。

[福山市のトップページ](#) → [議会情報](#) → [新着情報](#)

市議会ホームページへ

福山市議会では、開かれた議会をめざして、市民の皆さまにホームページで情報提供を行っ
ています。

福山市のトップページの[議会情報](#)をクリックすると、「議会情報」のページが表示されます。

◆本会議のインターネット中継を見たい → [議会中継](#)をクリック

◆本会議や委員会の会議録を見たい → [会議録検索](#)をクリック

（お使いのインターネットの環境によっては、うまくご覧いただけない場合があります。）

行財政改革特別委員会 (10月29日・30日)

宇都宮市：第4次宇都宮市行政改革大綱及び

行政改革推進プランについて など

福島市：福島市行政改革アドバイザーについて など



福島市

宇都宮市は、市民と行政がパートナーとして課題認識を共有し、まちづくりを共に進め（共創）、限りある経営資源で行政課題に的確に対応するための改革を、選択と集中の考えのもとで進めています。福島市は15年から、民間の経営手法の導入と専門的な知識や経験が必要との判断で、経営の専門的知識がある人を行政改革アドバイザーに委嘱しています。行政改革推進の指導や支援を行い、庁内の会議でも市民目線から助言を与えています。民間目線での指導や助言は、事務事業の改善やさらなる行政改革の推進に寄与しています。

都市整備特別委員会 (5月20日・21日)

長野市：長野駅前A地区第一種市街地再開発事業について
塩尻市：塩尻駅南地区第一種市街地再開発事業について



塩尻市

長野市では、市の玄関口である駅西口で建物の老朽化や細分化されたままの土地、低未利用地への対応が課題であったが、民間活力を活用して商業施設住宅、ホテル等を複合的に整備する再開発事業により、中心市街地のにぎわいを創出していました。塩尻市は、大型店舗の郊外への進出等で中心市街地ではかつてのにぎわいが薄れていましたが、駅周辺の活性化に向けて、少子高齢社会を見据えた新たなまちづくりの発想から、グループホーム、保育園地域交流センター等で構成する福祉系の複合施設を整備していました。住民生活の利便性や地域福祉の向上に寄与しており、今後のまちづくりの参考になりました。

特別委員会の視察報告

競馬場跡地活用検討特別委員会 (10月28日・29日)

栃木県：総合スポーツゾーン全体構想について

岐阜県：都市公園（岐阜メモリアルセンター）について

栃木県では、競馬場跡地を総合スポーツゾーンとして整備する検討を開始していましたが、県の財政負担の縮小化を図る観点からも、22年度から2カ年にわたり、PFIなど民間事業者の参画の可能性も検討するため「整備運営手法検討業務」を実施しています。



栃木県

また、第77回国民体育大会の栃木県開催が決まり、競馬場跡地の有効利用も含め、しっかりと目標を定め、計画的に進められていることを実感し、参考になりました。

虚礼廃止にご理解を!!

政治家は、日頃からお世話になった人でもお歳暮やお中元を贈ることは禁止されています。

また、年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。

編集後記

今号の表紙は、駅家町に位置する「蛇円山」（標高546メートル）から撮影した日の出です。この日の出のように輝かしい一年であることを祈念しています。

定例会の質問では一問一答方式を導入し活発に議論を交わし、昨年は初めての議会報告会も開催し市民と意見交換をするなど、議会改革に取り組んでいるところです。

これら市議会の活動をより分かりやすく市民の皆さまにお伝えできる紙面になるよう委員全員で努めています。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(生田政代)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200